



東・北

岩手県

世界初の技術で開発した 小型モーターの挑戦

(有) UNO

社長の宇野禎倫さんが開発した「コアレスモーター」は、わずか2cmの大きさ。その大きさで3cmほどのダンベルを持ち上げるという超高性能のモーターだ。おかげで鉄道模型愛好家からは「使い勝手が最高」と高い評価を受けているという。事実「このモーターを使えば、1車両3cm以上ある高級鉄道模型でも



「コアレスモーターを世の中に広めたい」と話す宇野社長

ラクに走らせることができません。愛好家からは本物の走りに近づいた」と喜ばれているようだ。



直径わずか16mmのコアレスモーター

コアレスモーターは宇野社長がエンジニア時代に開発したものだ。当時勤めていた会社はコアレスモーターの市場が小さかったために撤退。しかし、宇野社長は「開発者としてこのモーターの未来を捨てることはできなかった」と独立を決意。同社を

設立した。宇野社長はさつそくロボット産業に営業攻勢をかけているようだ。実際、コアレスモーターは、東京電機大学大学院で開発中の6足歩行のクモ型レスキューロボットにも採用されているという。

最近はこのコアレスモーターを使った家庭用の風力発電器の開発にも取り組んでいる。「電気エネルギーを生み出すモーターの逆の発想です。微弱な風でも発電できるように風車のなかにコアレスモーターのコイル巻上げの技術を使っています」と、宇野社長は「小型で大きなパワーを生み出せるコアレスモーターの需要はかならずある。一眼レフカメラのシャッターやズームなどの動力に使われるように

したい」と意欲を見せる。小さい機械で大きな力を生み出すコアレスモーター、使い方をしだいで、今後の日本のモノづくりに一大大革命をもたらすかも。

同社のモーターが画期的なのは、従来のモーターの半分の大きさで倍のパワーを生み出せる点。「直径とモーターの長さが同じ」という構造は、理論的には可能でもこれまで実現できなかった。その開発力は他の追随を許さない状況で、鉄道模型の愛好家たちからも多くの期待が寄せられています。



株式会社井門コーポレーション Models I MON五反田工場 兼代理 富代博之さん

地元の元気企業に聞きました 岩手県

地域経済の現状と展望

東北地方では木材の地産地消がはじまっています。岩手県でも、赤マツやスギなどの質のよい木材があります。が、そうした県産材はコスト面で外国産材に押され、新築需要のある東京など県外市場へ出ていってしまう状態です。現在、県内の戸建の新築需要は2年前と比べて7割です。その市場で、県産材のよさを知ってもらうには、まず地元の林業を知ってもらうことです。



(株) シオン 石川公一郎社長

会計人の眼

顧客本位で不況を生き抜く手段

塩釜市のおもな産業は水産加工業。とくに練り製品に関しては日本一の生産量を誇る。市内にはかまぼこやおでんの具になる練り製品などを扱う業者の工場が数多くある。が、最近原油高などの影響により状況は悪化している。厳しいご時世だが、こうしたときにこそ企業の評価がしっかりと表れてくるようだ。ある笹かまぼこ業者は昔ながらの製法を今でも守っている。地元の人の間では「お土産にするならこの店」と評価が高い。実際、ブラインドテストをしても、この商品が一番美味しいという声が多い。材料選びから製法まで、品質にこだわる姿勢が受け入れられているようだ。私も知人への贈り物にここの商品を使ったが、配送トラブルで商品が破損してしまった。すると経営者が直接たずねて来てお詫びをしてくれた。その素早さと丁寧さには感心した。おそらく社員全員に徹底しているであろう。こうした企業風土が不況を乗り切る原動力になるのではないか。



岡本 善吾
岡本善吾税理士事務所
(岩手県塩釜市)

お問い合わせは
コチラから



社長のひとこと	社長の自社採点
<p>QRコード対応のケータイ電話でいただいたお問い合わせです。</p>	企画力★★★★★
	営業力★★★★☆
	成長力★★★★☆
	収益力★★★★☆
	地域貢献力★★★★☆
	人材力★★★★☆
	専門性★★★★★
	リサーチ力★★★★★
	計画性★☆☆☆☆
	リスクマネジメント★★★★★

会社概要
本社：〒038-0323 青森県東市川市上十川字 村元一丁目8-6 / ☎0172-53-5295 / 設立05年 / 資本金400万円 / 年商2000万円 / 従業員3名
http://www.uno-motor.com/index.html

【社長の自社採点】における各指標は、社長の取材に応じてその大きさは必ずしも一致していません。●企画力／営業力／成長力／収益力／地域貢献力／リスクマネジメント／人材力／専門性／リサーチ力／計画性／顧客本位／社会貢献／環境配慮／その他